

特集

# 《シリーズ》JR問題

# 若手職員が考える JR北海道の魅力を 愛する鉄道語

# ④ を考える

# 手職員が 課題点

厳しい経営状況が続くJR北海道は、来春のダイヤ改正で無人7駅を廃止し、札幌圏の普通列車を減便するなどの方針を打ち出した。利用者やファンにとっては暗い話題ばかりが相次いでいるが、実際に現場で汗を流す若手職員は、このような現状をどう受け止めてい

るのか――。  
鉄道の魅力を発信すべく、自ら余暇にツアーを考案・実施するなど、鉄道愛あふれるJR北海道室蘭派出所勤務の沢尻智尊さん(28)に話を聞いた。

(フリーライター・内海 達志)

## 地域密着のツアーを

――鉄道に興味を持たれたきっかけは。

23日)に乗れたのですよ!

子どもの頃、家族旅行で列車を利用する機会が多く、気が付いたらファンになっていました。当時はカートレインとか寝台列車とか、楽しい列車が走っていましたからね。

まさかチケットが取れるとは思っていませんでした。

――思い出に残っている列車はありますか。

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

なんとブルートレイン「北斗星」のラストラン(2015年8月

撮りと乗りがメインで、それに収集と模型も。入社後、真冬の宗谷線ヘラッセル車を撮りに行ったこともあります。

――思い出に残っている列車はありますか。

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

心師と仰ぐ日高晤郎さん(2018年4月没)の影響を受け、話し方など言葉遣いには注意しようと、それは常に心掛けてきました。

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

プロでしたからね。それにしても、その若さで日高さんとは……。

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――日高さんは喋りの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの



▲JR北海道に勤務する沢尻智尊さん(札幌駅にて)

ですか。  
はい。幼稚園くらいから、ずっとどこかの鉄道会社に入りたいと思っていました。

――まさに初志貫徹ですね。どんなお仕事をされているのですか。

いえいえ、初志貫徹というほどでは(笑)。

仕事内容は電気設備関係です。具体的には、電光掲示板、電話機、無線機などのメンテナンスや、工事の発注といったことです。完全防備しても、冬の寒さはきついですね。本当は不得意な分野で、元々は車掌志望だったのですが(笑)。

――鉄道マンになるために何か努力されたことはありますか。

これといったことはないのですが、勝手に

事(することは)ツアーでのガイド役で、多少なりとも生かされている気がします。

――お仕事が多忙なか、なぜツアーをやってみようと思ったのですか。

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの

――鉄道好きが高じてJR職員を目指したの



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)